

=====
関 東 電 友 会
第 5 4 回 東京搬送支部総会
総 会 議 案
=====

令和 4 年 6 月 17 日(金) 於 東天紅国際フォーラム店

支部長挨拶

第 1 号議案

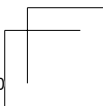
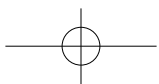
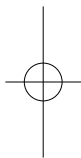
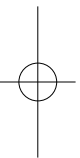
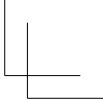
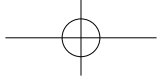
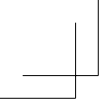
- (1) 令和 3 年度事業報告 1
- (2) 令和 3 年度決算報告 5
- (3) 令和 3 年度会計監査報告 6

第 2 号議案

- (1) 令和 4 年度事業計画 (案) 7
- (2) 令和 4 年度予算計画 (案) 9

第 3 号議案

- 東京搬送支部役員の選任 (案) 10



第1号議案－(1)

令和3年度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和3年度の活動にあたっては新型コロナウイルス（以下「コロナ」という）の感染状況及びワクチン接種の動向、コロナ感染予防対策を徹底する等を考慮しつつ、参加規模の縮小や懇親会の自粛、具体的作業を伴わない会議等はリモートを採用する等、状況に応じ柔軟に対応することとしました。

新型コロナウイルス感染は年末に向け一旦収束に向かっているように見えてましたが、オミクロン株が猛威を振るい出しました。支部運営はリモート会議を活用したり、事務所当番で在宅勤務を取り入れたり柔軟に対応したものの、昨年度と同様に活動自粛を余儀なくされたことから、レク・サークル活動は計画が立てられないほどの影響を受けた1年でした。

1. 会員の心豊かな生活と生きがい支援施策の更なる充実

- (1) 支部主催の常任幹事会、幹事会、地域会長連絡会、及び各地域の集会行事等は三密を回避した運営を行う等、状況に応じ柔軟に対応することとしました。

支部が令和3年1月にホスト契約した「ZOOM Meetingライセンス」は令和4年1月に契約を継続してWeb会議利用環境の維持を図りました。

① 第53回支部総会

支部総会については新型コロナウイルス感染拡大の収束の目途がたらず不安な日々が続いていることから、通常総会の集合開催は困難と判断して、「書面表決」による総会を開催することとし、5月6日に全会員宛てに議案書を送付させていただき、6月16日までにご回答いただくことにいたしました。

ア、日時：令和3年6月17日（木）10時～

イ、場所：千代田区大手町2-3-5

NTT大手町ビル B1階 東京搬送支部 事務所

ウ、出席者：森支部長、渡邊副支部長、福島、金子、高橋、小酒、藤崎各常任幹事、松本監事

エ、議事

- ・森支部長の挨拶があり以下の議案について審議しました。

第1号議案（1）：令和2年度 事業報告

第1号議案（2）：令和2年度 決算報告

第1号議案（3）：令和2年度 会計監査報告

第2号議案（1）：令和3年度 事業計画（案）

第2号議案（2）：令和3年度 予算計画（案）

第3号議案：東京搬送支部 細則の改訂（案）

第4号議案：支部役員を選任（案）

- ・会員420名の賛成を確認し、各議案は承認されました。
- ・これにより、福島常任幹事が新たに副支部長に選任されました。
- ・福島新副支部長から就任の挨拶がありました。
- ・総会結果につきましては、東京搬送支部ホームページ並びに会報「搬送」81号でご報告させていただきました。

② 新春ふれあいパーティ（開催中止）

- ・令和4年1月15日（土）開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を断念し中止することとしました。

③ 新春「賀状」の送付

コロナ禍の中、会員との絆を深めるため、全会員宛てに「年賀状」を12月16日に発送して、新春のご挨拶を申し上げます。

(2) 各地域主催のレク・サークル活動と地域懇談会の実施

ほぼ全サークルが活動中止や計画変更をせざるを得なくなりました。唯一、実施出来たのは神奈川、総武並びに常盤地域懇談会の3地域3ゴルフサークルで9回開催して96名の参加でした。これは、開催ゴルフ場の十分な感染防止対策に則り実施されました。地域懇談会総会は、全地域懇談会が「書面決議」で実施されましたが、4地域で地域幹事による懇談会を6回開催して41名の参加でした。

(3) 支部会報、ホームページの充実による会員相互のコミュニケーション強化を図り、支部ホームページに“会報「搬送」”のバックナンバーを掲載しました。

(4) コロナ禍の環境の中、近況が把握されていない80歳以上の会員に対し、7月と年末・年始にかけて各地域主体に電話等による「お元気ですかコール」を実施してコミュニケーションの強化を図りました。消息不明な会員に対しては直接訪問等により引き続き活動を継続します。

2. NTT及びNTTグループ会社の諸施策への協力と連携強化

(1) NTT設備の不具合状況を見つけた場合は、会員から積極的に情報を提供しました。

(2) NTT及びNTTグループ会社が推進しているCSR活動等の諸施策に、“チームNTT”の一員として協力しました。

(3) NTT主催の「退職者との交流会」は、開催が中止となりました。

(4) 各会員は地球温暖化防止キャンペーン（CO2の削減）について、日常生活の中で出来る節電などを着実に実施しました。

3. 電友会活動の活性化と会員拡大施策の強化

(1) 会員拡大施策の推進

前年に引き続き重要な課題として取りくみ、既に退職されている方々の中から未加入者の掘り起し、若手会員の情報を活用して勧誘活動をしましたが、新規会員の獲得には至りませんでした。

令和3年度は逝去者19名、退会者12名あり、会員数は前年末より31名減の530名となりました。レク・サークル活動も新型コロナウイルス感染の収束が見えないことから計画を立てられない状況であり、積極的なつなぎ止め活動は叶いませんでした。当支部では女性会員の拡大は見込めませんが各地域懇談会への参加を求めており、支部幹事に女性役員2名を選任して女性会員の活性化を図りました。

4. 安全安心施策の推進

(1) 災害発生時における会員の安全安心対策について、全国本部、関東本部と連動した取組を継続しました。

(2) 緊急時の連絡機能の迅速化・効率化を図るため、役員・地域連絡責任者及び会員との連絡手段の拡充（個人情報に配慮したうえで携帯電話番号、携帯メール等も活用）及び維持メンテを行いました。

(3) 大規模災害が発生した場合にNTTが提供するNTT災害用伝言ダイヤル“171”を使用した訓練を継続実施し、会員自らが家族はじめ支部会員相互に安否確認や情報伝達ができるよう拡大を推奨していきます。なお、支部ホームページに使い方などを掲示しています。9月1日「防災の日」には支部役員・地域役員含め25名による情報伝達訓練を実践して使用方法の確認をしました。

5. 業務の改善等

(1) 持続可能な組織運営（収支改善、会費の見直し、業務の洗い直し等）を継続的に検討しました。

(2) 支部常勤当番は、支部ホームページ、メール、電話等を積極的に活用して、週2日（月・木、当該日が祝祭日の場合は休日とする）勤務を継続しました。

(3) ICT普及・活用を推進して支部常任幹事の連絡手段として「LINE」による情報共有、各種調整を行うとともに、「Zoom」でWeb会議を開催することにより集合会議での交通機関利用による新型コロナ感染リスクを回避するよう努めました。

今後とも各種Web会議やイベント等で活用して、新型コロナ感染リスクを回避するとともに、移動時間や交通費の削減による効率化を図って行くこととします。

(4) 本部会員情報（支部会員分）を支部パソコンへも分散保存することにより、データ喪失をリカバリーできるよう努めました。

6. 役員会等の開催

会議名	回数	開催日	備考
常任幹事会	9回	令和3年4月8日(木)	併せて編集会議
		令和3年5月6日(木)	併せて総会議案発送
		令和3年6月17日(木)	併せて編集会議
		令和3年7月29日(木)	併せて支部総会
		令和3年9月30日(木)	併せて編集会議
		令和3年11月8日(月)	Web会議
		令和3年11月18日(木)	新春パーティ実施判断
		令和3年12月16日(木)	併せて賀状発送
		令和4年2月3日(木)	Web会議
幹事会	3回	令和3年4月19日(月)	Web会議
		令和3年11月25日(木)	Web会議
		令和4年3月17日(木)	
地域会長 連絡会	1回	令和4年3月31日(木)	

7. 東京搬送支部会報「搬送」81号の発行

全員参加型の会報作りに編集委員一丸となって取り組み、簡潔で読みやすい会報となるよう、前号と同様にオールカラー化で作成しました。

各地域懇談会の活動状況の紹介や会員からの近況等、多くの会員から寄稿していただき、会員相互のコミュニケーションを図ることが出来ました。

卒寿(5名)、米寿(2名)、傘寿(17名)、喜寿(32名)、その他会員の近況を知らせる短信(282名)で合わせて338名の投稿がありました。

8. 令和3年度慶弔(敬称略)

(1) 関東電友会会長表彰

・ボランティア活動賞

「児童及びシルバーへの将棋教室で地域活性化に貢献」：大熊 清

(2) 米寿

飯塚 武夫、宮本 宏、岡崎 孝義、中山 雄而、名倉 康秋、山下 忠義、
島村 圭一

(3) 会員のご逝去

楠本 和明、町田 麻治、中島 忠男、大野 薫、井上 昭、飯島 是光、
上保 龍、渡辺 勝弘、神谷 康司、杉本 英機、中野 圀郎、栗島 茂、
原田 祥一、宇塚 雄一、江守 修、坂下 隆義、茂木 與吉、諸星 貞安、
平沼 浩三

令和3年度 収支報告書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで (単位 円)

収入の部			支出の部			
科目	金額	記事	科目	金額	記事	
前期繰越金	1,128,063		事業費	会報費	484,142	編集委員会費、製本費、発送費等
会費等収入	1,830,500			名簿費	0	
(入会金収入)	0			慶弔見舞費	85,000	弔慰金
(会費収入)	1,830,500	523名		福利厚生費	40,000	米寿祝金
				調査研究費	190,820	PC機器更改、OCN回線使用料、Zoom年間使用料、
分担金収入	82,000	NTT東日本補助(総会)		小計	799,962	
賛助会費収入			会議費	総会(懇親会)費	83,430	支部総会書面決議(議案書)
総会(懇親会)収入	0	コロナ禍中止		地区懇談会費	280,000	地域助成金
地区懇談会収入				賀詞交歓会費	0	
賀詞交歓会収入	0	コロナ禍中止		その他の会議費	219,060	常任幹事会、支部幹事会、地域会長会議、本部会議等
広告収入	76,800	セレモア様、丸大ハム様	小計	582,490		
利息収入	7	郵貯/みずほ 利息	事務費	用品費	60,569	文具、CCP用紙、封筒代、トナーインク等
その他の収入	20,240			通信費	145,107	総会案内、現金書留送料、年賀お元氣コール葉書
(総会・賀詞交歓祝金)	0	コロナ禍中止		振替手数料	10,230	振替通知手数料 振込手数料
(その他1)	20,240	バンダネット、本部Web会議交通実費		事務所活動費	234,360	支部役員当番
				旅費交通費	0	
				賃金	0	
			賃借料	0		
			雑費	27,971	幹事会・会報編集会議お茶代等	
			小計	478,237		
			会費等支出	0	本部への会費	
			(会費)	0		
			(入会金)	0		
			その他の支出	0		
収入合計額	3,137,610		支出合計額	1,860,689		
			基金積立金			
仮受金			仮受金繰越			
			当期収支差額	1,276,921		
合計	3,137,610		合計	3,137,610		

追記 令和4年3月31日現在、次の積立金を有している。 積立金 600,000円

第1号議案-(3)

令和3年度 会計監査について

会計規程第14条により、令和3年度の金銭出納簿及び関係書類並びに預金通帳を照合した結果
すべて正確であることを確認いたしました。

令和4年 4月 14日

関東電友会 東京 搬送 支部

支部長 森 信夫 殿

確認者

監事 松本 八朗



記

会計規程第12条 様式3

残高 明細書

令和4年 3月 31日現在

単位(円)

区 分	金 額	記 事
次期繰越高(当期収支差額)	1,276,921	
仮受金繰越	0	会費の前納金 特別基金積立金の預り金
(内訳) 現金	45,559	
銀行預金	265,509	みずほ銀行 丸の内 支店(普)No*****
郵便貯金(積立)	705,308	ゆうちょ銀行〔普〕No *****
	260,545	振替受払通知票No 00100-0-*****
合 計	1,276,921	

令和4年度事業計画（案）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

基本的な考え方

令和3年度は新型コロナウイルス（以下「コロナ」という）感染症禍における三密回避等の感染対策のため、支部行事及び各地域連絡会の総会を始めとするレク・サークル活動は、大幅に縮小または中止せざるを得ない状況が2年間続いてしまいました。

そこで令和4年度の活動にあたってはコロナオミクロン株の感染状況及びワクチンの3回目接種の動向、コロナ感染予防対策を徹底する等を考慮しつつ、参加規模の縮小や懇親会の自粛、具体的作業を伴わない会議等リモートを採用する等、状況に応じ必要な措置を講じ柔軟に対応することとします。

1. 会員の心豊かな生活と生きがい支援施策の更なる充実

次の各種施策をとおして、会員との絆の醸成を図っていきます。

- (1) 支部主催の常任幹事会、幹事会、地域会長連絡会、及び各地域の集会行事等を三密を回避した運営を行う等、状況に応じ必要な対応を柔軟に対応することとします。また、実施にあたっては必要により自粛等柔軟に対応することとします。
 - ・支部がホスト契約を延長した「ZOOM Meetingライセンス」を利用し、各種会議が支部内及び各地域で時間の制限を受けずに使用できるようにします。
 - ・新型コロナウイルスの終息が見えない間の、支部総会、各地域総会を書面決議を行います。
 - ・2年続けて実施出来なかった、新春ふれあいパーティーを令和5年1月に実施する方向で検討を行います。
 - ・新春ふれあいパーティーにおける同期入社グループ会員（S39入社）への参加を要請します。
 - ・新春ふれあいパーティーにおいて、絵画、写真、書、彫刻等の会員の余技作品を披露する機会を設け、より一層の懇親を図ります。
- (2) 支部及び各地域主催のレク・サークル活動の充実を図ると共に、地域を超えたレク・サークル活動への参加を呼びかけ、積極的に交流を図ります。
 - ・各地域が提案する一つの行事を、他地域の参加を大々的に呼び掛ける施策行事として開催出来る様提案します。
 - ・各地域主催行事を支部ホームページに掲載し、参加申し込みを他地域会員からも可能にする施策の推進を図ります。
 - ・各行事実施に際し、一声誘い合いを実施します。
- (3) 支部会報“搬送”及びホームページの充実による会員相互のコミュニケーションの

強化を図っていきます。

- ・個人情報配慮のうえ会員のネットワーク環境等を踏まえ、支部ホームページや電子メールの活用を検討します。
- ・支部ホームページに“会報「搬送」”のバックナンバー（会報の過去号：PDF版）掲載を前年に引き続き順次進めます。

- (4) 各地域主体にて近況が把握されていない80歳以上の会員に対して、電話等によるコミュニケーションの強化を図ります。

2. NTT及びNTTグループ各社の諸施策への協力と連携強化

- (1) NTT設備の不具合状況を見つけた場合は、会員から積極的に情報を提供していきます。

- ・受付時間内（9時～17時・土日祝日を除く）：NTT窓口0120-270-794
- ・受付時間外及び緊急時：局番無しの“113”
- ・受付時間外及び緊急時：携帯電話から 0120-444-113

この“発見のポイント・連絡先”は支部ホームページのトップページに掲載し、ホームページ閲覧者に積極的に協力を要請しています。

- (2) NTT及びNTTグループ会社が進めるCSR活動等の諸施策に“チームNTT”の一員として協力していきます。

- (3) NTT主催の「退職者との交流会」等について、多くの参加を呼びかけます。

- (4) 地球温暖化防止キャンペーン（CO2の削減）について、今後も継続して日常生活の中で出来る節電などを、着実に実施していくこととします。

3. 電友会活動の活性化と会員拡大施策の強化

- (1) 会員拡大施策の推進

ア. 在職者及び各地域の若手会員の情報などを活用して、加入対象者の掘り起こしを行います。

イ. 既に退職されている方々の中から未加入の掘り起こしを引き続き行っていきます。

- ・未加入者及び他支部との重複会員に対し加入勧奨を行います。
- ・NTTの退職者情報及び友人知人（同期会、サークル、NTT退職後の職場など）を活用して、積極的な加入勧奨を行います。

ウ. NTT主催の“退職者との交流会”等を活用し、電友会はNTT-OB皆様の会で有る事を強調するなど情報交換により、会員拡大活動を更に強化していきます。

- (2) 各地域懇談会及びレク行事等へ支部役員の参加や、他地域会員の参加など一層の連携強化を目指します。また、支部ホームページへの各地域懇談会やレク行事の予定などを掲載します。

- (3) 各地域を主体とした退会者のつなぎ止め活動を強化します。
 - ・レクレーション活動への積極的な呼びかけを図ります。
 - ・交流の無い会員への電話等によるコミュニケーションを図ります。
- (4) 会員獲得に対するインセンティブ施策を継続実施します。
 - ・会員獲得に顕著な成果を上げた会員及び地域を対象とします。

4. 安全安心施策の推進

- (1) 災害発生時における会員の安全安心について、全国本部、関東本部と連動した取り組みを継続します。
- (2) 緊急時の連絡機能の迅速化・効率化を図るため、役員・地域連絡責任者及び会員との連絡手段の拡充（個人情報に配慮し携帯電話番号、携帯メール等も使用）及び維持メンテを行っていきます。
- (3) 大規模な災害が発生した場合にNTTが提供する、NTT災害用伝言ダイヤル“171”を使用した訓練を継続実施し、会員自らが家族をはじめ支部会員相互に安心できるよう拡大を推奨していきます。なお、支部ホームページに使い方などを掲示していきます。
- (4) 支部ホームページの関連リンクから電友会本部等の“災害・防災関連ページ”がより使い易いよう、防災ノウハウの提供に努めます。

5. 業務の改善等

- (1) 持続可能な組織運営（収支改善、会費の見直し、業務の洗い直し等）を継続的に検討します。
- (2) 支部当番は、支部ホームページ、メール、電話等の積極的活用により、週2日（月曜日及び木曜日は常勤当番とし、祝祭日の場合は休日とする）勤務を継続します。
- (3) ICT普及・活用を深めるため、「LINE」による情報共有、各種調整等とともに、「Zoom」でWeb会議を開催することにより業務の効率化・経済化を図ります。
- (4) 前号に続き、会報”搬送“第82号は、パソコンを活用した効率的なシステム化を工夫し、会員からの原稿授受管理や印刷会社への手書き原稿などを電子化データ渡しにする等により、稼働の減少、印刷経費抑制を進めます。

(5) 古くなった支部パソコンの更改を実施し、業務の効率化・スピード化を図ります。

6. 役員会等の開催

常任幹事会は年8回、幹事会は年3回を目標に必要なにより開催します。

7. 東京搬送支部会報「搬送」第82号の発行

(1) 掲載原稿の全員参加型を継続します。

(2) 会員相互の絆を一層推進させます。

(3) 印刷経費の削減、編集稼働の抑制を図り、2022年7月の発刊を目指します。

第2号議案－(2)

令和4年度 予算計画 (案)

2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで (単位 円)

収入の部			支出の部			
科目	金額	記事	科目	金額	記事	
前期繰越金	1,276,921		事業費	会報費	500,000	編集委員会経費、製本費、発送費等
会費等収入	1,683,000			名簿費		
(入会金収入)	3,000	2名		慶弔見舞費	100,000	祝金、弔慰金等
(会費収入)	1,680,000	480名		福利厚生費	10,000	米寿祝金
				調査研究費	100,000	OCN回線使用料、HP、Zoom年間使用料
分担金収入	440,000	NTT補助 ・総会(R4) ・会報助成金(R3・R4)	小計	710,000		
賛助会費収入			会議費	総会(懇親会)費	520,000	支部総会及び懇親会
総会(懇親会)収入	400,000	80名		地区懇談会費	350,000	地域助成金、地域総会祝金
地区懇談会収入				賀詞交歓会費	650,000	新春パーティー懇親会費
賀詞交歓会収入	500,000	100名		その他の会議費	250,000	支部幹事会、常任幹事会、本部幹事会等
広告収入	76,800	セレモア様、丸大ハム様	小計	1,770,000		
利息収入			事務費	用品費	100,000	文具、CCP用紙、封筒代、トナーインク等
その他の収入	20,000			通信費	200,000	総会案内、パーティー案内、宅急便等
(賀詞交歓祝金)	10,000	本部より		振替手数料	20,000	振込手数料、振込通知手数料等
(その他・賀詞交歓祝金)	10,000	セレモア様		事務所活動費	250,000	支部役員当番新事務室移転
				旅費交通費	50,000	地域総会、葬儀出席、その他の旅費等
				賃金		
				賃借料		
			雑費	20,000	事務所お茶代、土産代、その他の経費等	
			小計	640,000		
			会費等支出	52,600	本部への会費	
			(会費)	51,600	430名	
			(入会金)	1,000	2名	
			その他の支出			
収入合計額	4,396,721		支出合計額	3,172,600		
積立金より受入						
仮受金	0		仮受金繰越	0		
			当期収支差額	1,224,121		
合計	4,396,721		合計	4,396,721		

追記 令和4年3月31日現在、次の積立金を有している。 積立金 600,000円

第3号議案

東京搬送支部役員の選任（案）

役職	氏名	区分
支部長	森 信夫	再任
副支部長	渡邊 力	退任
副支部長	福島 勉	再任
副支部長	小酒 修	新任
監事	松本 八朗	再任

【参考】令和4年度 東京搬送支部 役員等一覧

役職	氏名	記事
支部長	森 信夫	
副支部長	福島 勉	
同	小酒 修	新任
監事	松本 八朗	
常任幹事	金子 義信	
同	高橋 弘允	
同	藤崎 薫	
同	野本 忍	新任
幹事（東東京地域）	湯原 宏	
同	飯野 博美	
幹事（西東京地域）	横山 進	
同	堀米 恵	
同	中村 悦子	
幹事（神奈川地域）	大矢 健一	
同	岡本 好弘	
幹事（埼玉地域）	高橋 光男	
同	石川 允之	
幹事（総武地域）	櫻井 耕作	
同	石田 賢二	
幹事（常盤地域）	渋谷 敏和	
同	石井 滋	
幹事（栃木地域）	小林 守	
同	佐藤 誠司	
幹事（群馬地域）	須藤 雅隆	

幹事	武山 紀美子さんは退会いたします。
相談役	渡邊 力さんを相談役に委嘱します。

